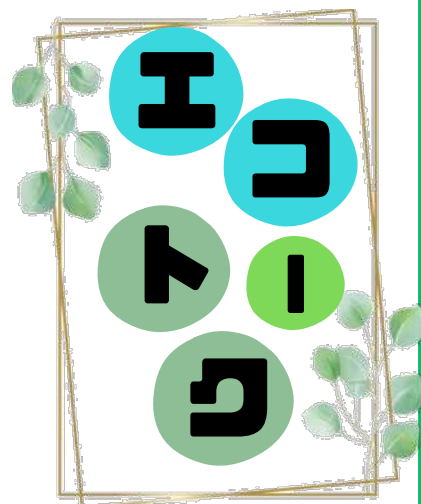


町 美 字



(2024年広報3月号)



今号は少し趣が違ってると感じる方がいらっしゃるかもしれませんが、普段感じていることをお話しさせていただきます。全国の様々な都市で車を運転することがあります。その町の文化度？を表すものの一つに運転マナーの程度があります。急な割り込みや煽り運転などは違法行為ですが、それ以前のモラルの問題です。町内にも道路が狭く、離合する際に車を左に止めて待っていたり、待ってもらったりすることがよくありますが、待ってもらった際には「ありがとうございます。」の

っています。町内の小・中学生のほとんどが渡る際に軽く会釈をしてくれますし、中には「ありがとうございます。」と声を出して渡る子どももいます。観察していますと大人の方が知らん顔をして、中にはスマホを見ながらのんびりと平気な顔をして渡る人を見かけます。

意思表示として、手を挙げてくれるドライバーがいるかと思えば、知らん顔してそのまま通り過ぎるドライバーもいます。朝夕の道路が混んでいる時間帯に、右折しようとしてもなかなか曲がれず、止まってもらったのを待つことがあります。対向車に道を譲ってもらった時も同じです。「譲る、譲ってもらおう。」これは他

地球温暖化防止には『他者への思いやり』が何より必要であることを書いてきました。思いやりと同時に思いやりに感謝する心も大事です。

近年歩行者の事故が増えたことから、以前からあった横断歩道での一時停止の取り締まりが厳しくな

『他者肯定感』を高めて成長するのですから。

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆